

<修繕>

サブアリーナ自動火災報知設備修繕仕様書

1	修繕名称	サブアリーナ自動火災報知設備修繕
2	施行場所	横須賀市不入斗町1丁目2番地
3	修繕物件	別紙特記仕様書のとおり
4	修繕内容	別紙特記仕様書のとおり
5	履行期間	契約の日から令和5年3月13日まで
6	特記事項	別紙特記仕様書のとおり
7	契約方法	総価による物件修繕請負契約
8	支払方法	1 部分払い:しない 2 修繕完了後、一括払い
9	施行監理	現場及び技術的事項を監理する責任者をおくこと。
10	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
11	監督員 連絡先	文化スポーツ観光部スポーツ振興課 片桐 046-822-8444

<指示又は希望事項>

グリーン購入	仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で請負代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照)
--------	---

サブアリーナ自動火災報知設備修繕
特記仕様書

1 修繕概要

総合体育会館（サブアリーナ）1階事務室に設置されている既設火災報知設備（P型1級受信機）の更新作業を行う。

2 設置機器仕様

メーカー：能美防災株式会社

種別：P型1級受信機（蓄積式、自動試験機能付き）

構造：自立型

主電源：AC100V 50Hz

予備電源：DC240V 6.0Ah

回線数：50回線以上

※ 自動火災報知受信機及び表示機は既設の消火栓設備・防排煙設備等と正常に連動すること。

3 現在使用中の機器仕様(参考)

メーカー名：能美防災株式会社

形式記号：FGS180

種別：P型1級自立複合盤

4 機器の設置場所及び既設筐体について

① 機器設置場所

事務室に設置されているキャビネット内とする。（別紙）

キャビネット寸法 W790×D490×H2140 mm

※キャビネットは再利用するが既存開口部に表示パネル及び操作パネルが合わない場合は加工をする事。

② 既設筐体

既存防災盤筐体を撤去して更新機器を設置する。

キャビネット開口部に合わせて表示パネル及び操作パネルを設けること。

キャビネット開口部分寸法：W330×H870mm

既存防災盤筐体寸法：W600×D300×H2000 mm

※既存開口部に表示パネル及び操作パネルが合わない場合は加工をする事。

※開口部が必要ない部分は化粧パネルを設けること。

5 作業手順

① 調査・確認

既設火災報知設備、関連機器の現在状態を調査・確認後、作業計画書を作成し、手順等の確認を行う。

なお、設置の際に必要な消防署検査手続（事前計画含む）及び立会事前申請手続は、請負者が手続きを行うこと。

作業については、別途協議の上で行うこととする。

また、作業計画上、施設側に影響のある場合（騒音・振動・停電等）は、市監督員及び施設管理者と協議を行う。

② 養生・準備

作業場所において、交換作業を行う際、周辺機器等に支障が無いよう養生を行うこと。

加工作業を現地で行う場合は、市監督員及び施設管理者と調整し場所を設定する。

また、電気の利用 については、電源利用箇所及び容量の確認を行うこと。

③ 各種取り外し

既設火災報知設備一式の取り外し、撤去を行う。この際、他の設備（電気・消防・監視等）の連動について、十分確認を行い、事前処理を行うこと。

取り外した各部品及び廃材は、分別の上、適正な処理及び処分を行うこと。

④ 各種取り付け

新規火災報知設備一式の取り付けを行う。

取り外した各機器と取り付けする部品を比較し、取り付けに問題の無い事を確認の上、新規機器の取り付けを行うこと。

⑤ 試験・調整

新規火災報知設備一式取り付け後、正常に使用、動作する事を確認すること。

また、消防署による検査立会を行い、検査終了後消防署からの検査済証を提出すること。

⑥ 完了

養生撤去し清掃後、市監督員の確認を受けること。

各機器の操作マニュアルを作成し、市監督員及び施設管理者への操作説明を行うこと。

6 作業計画と作業記録の報告

①作業前に機器仕様書及び作業計画書を提出し、市監督員の承諾を得ること。

②作業前の状況確認を行い、写真記録を撮ること。

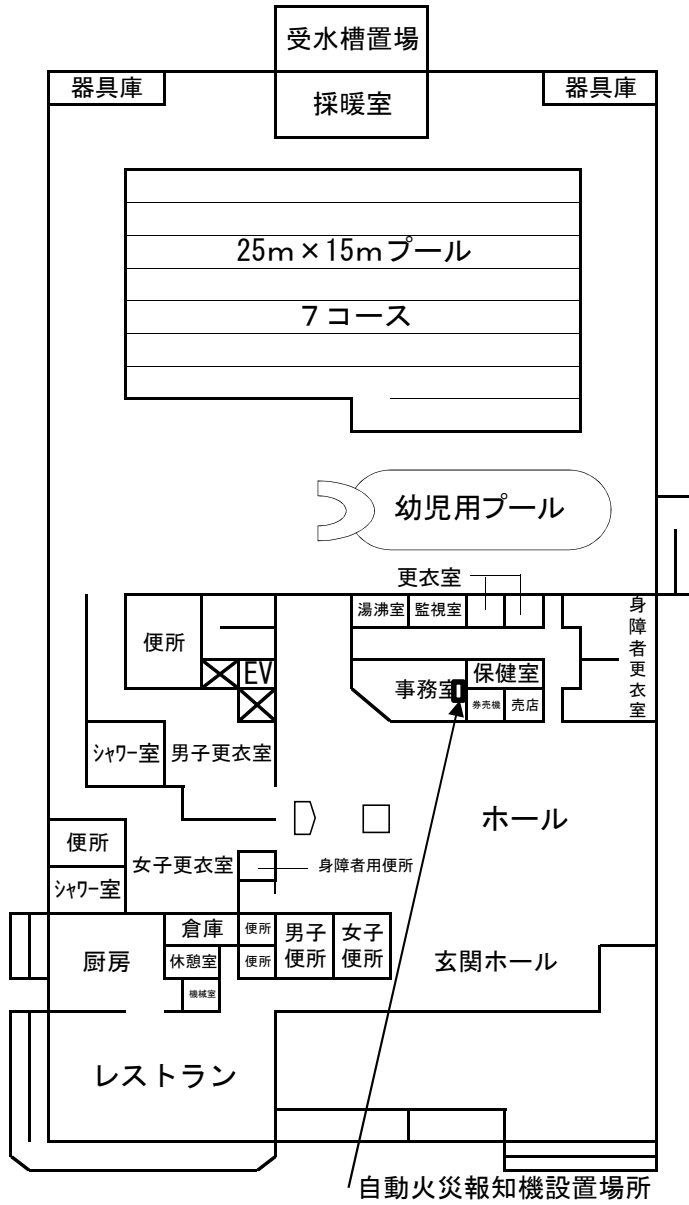
③作業中及び完了の写真記録を撮ること。

④作業終了後、作業前確認記録及び作業後確認記録について、写真を添えて提出すること。また、完成図、サービス体制表、故障連絡先、保証書等も併せて提出すること。

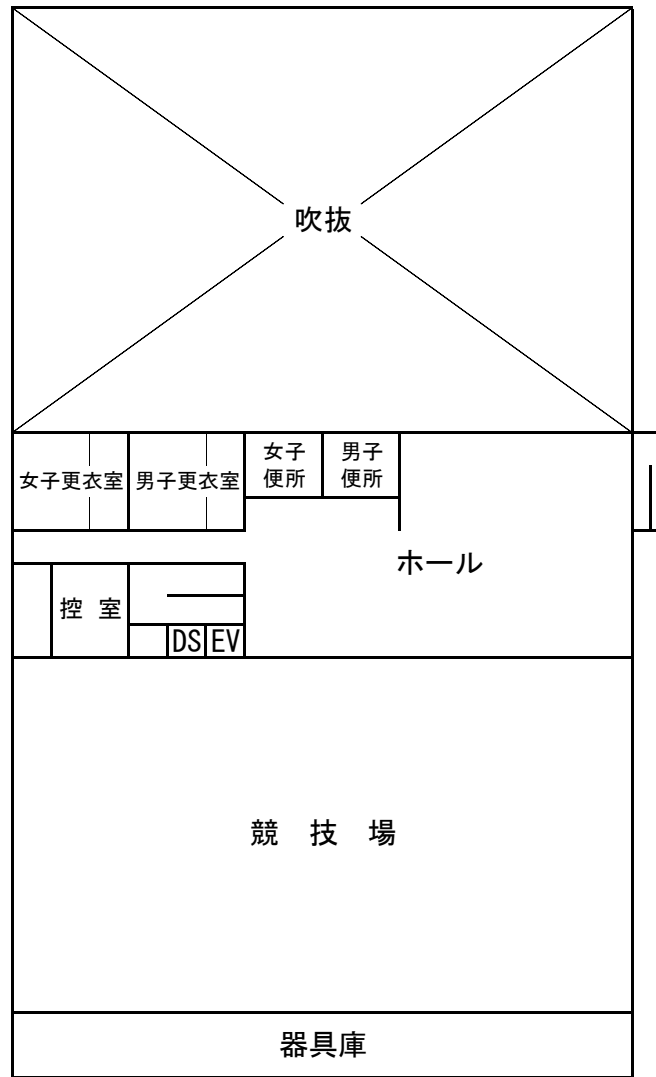
7 注意事項

- ①市監督員と作業前協議を十分に行うこと。
- ②作業にあたっては、十分な安全計画を立て施工すること。また、作業中に発生した事故については、発注者の重大な過失が無い限り、発注者はその責めは負わないものとする。
- ③作業当日の乗り入れ作業車は最低限とする。
- ④作業により発生した廃棄物や梱包材等は請負者の責任により適正な処分を行うこと。
- ⑤この仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、速やかに別途協議するものとする。

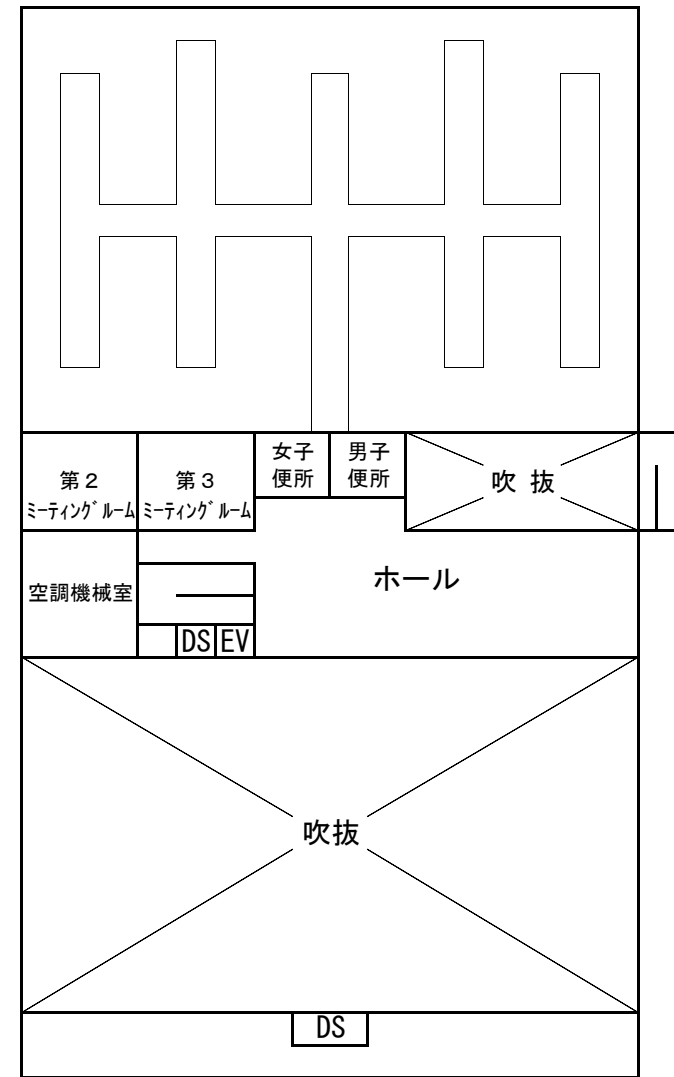
サブアリーナ平面図



1 階

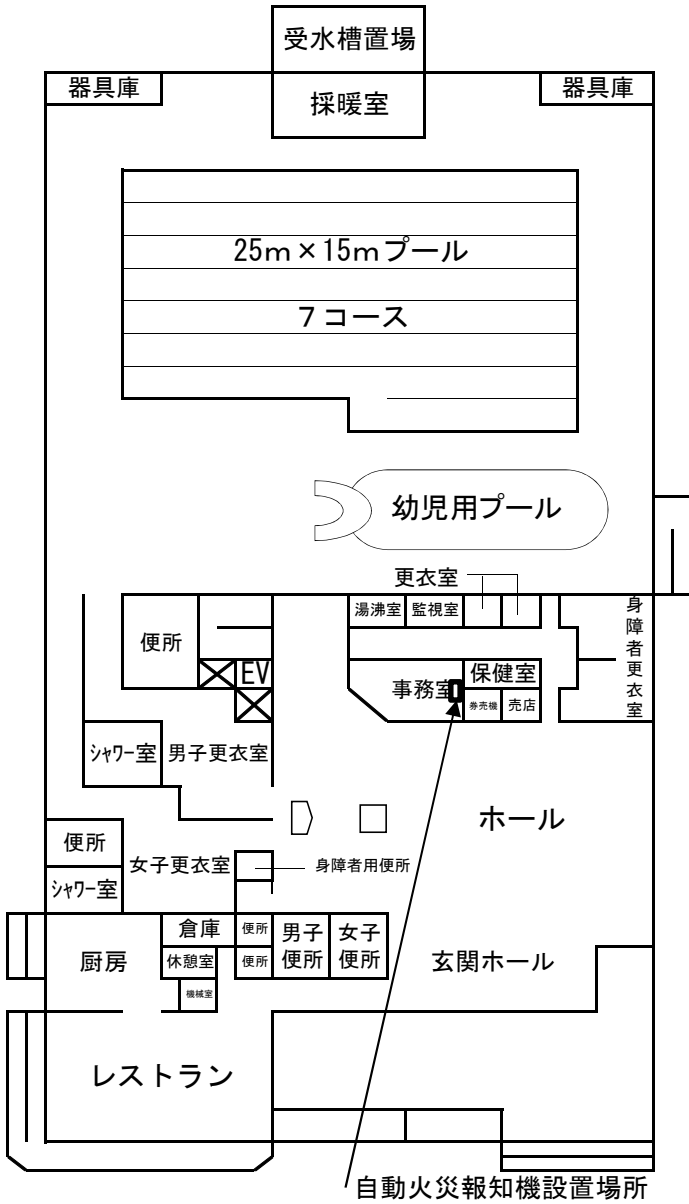


2 階



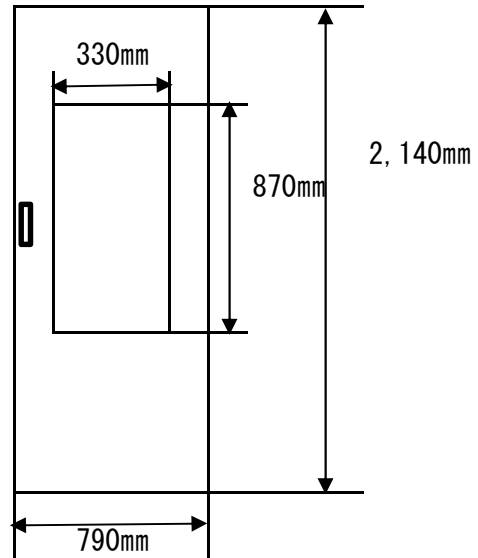
3 階

横須賀市総合体育会館 サブアリーナ 1階平面図

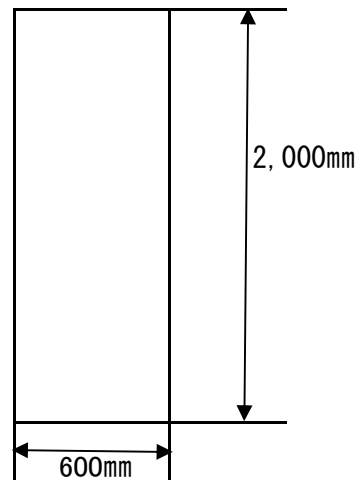


1 階

キャビネット寸法



キャビネット内収納既存防災盤筐体寸法 (参考)



キャビネット外観



キャビネット扉開放

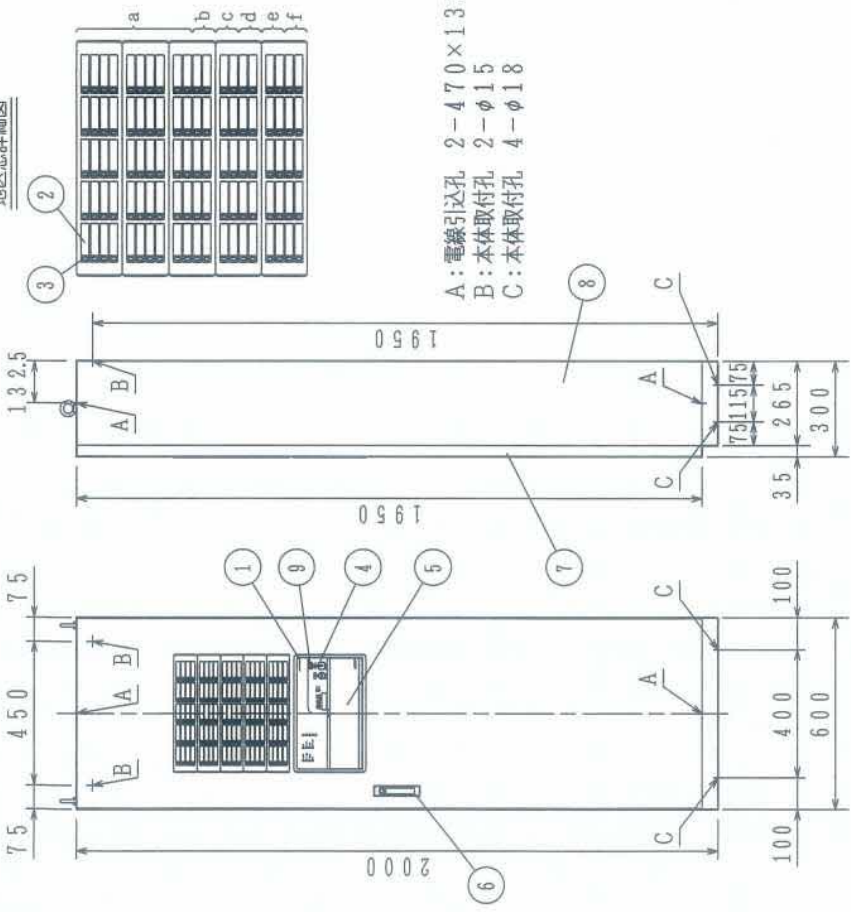


既存防災盤筐体

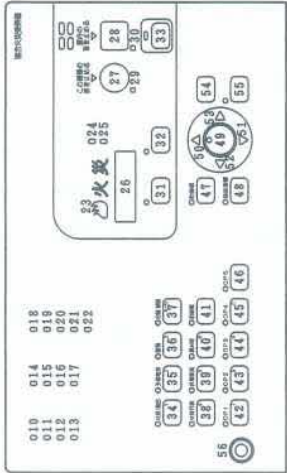


GKF06175

地区窓詳細図



スイッチ操作詳細図



使用機器	型名	火災/防排煙回線数	地区識別記号	秒報接点数
○	FCSJ104N-J3A-50L	50/30	a	25
	FCSJ104N-J3A-50LT	50/30	a	85
	FCSJ104N-J3A-60L	60/30	a, b	25
	FCSJ104N-J3A-60LT	60/30	a, b	85
	FCSJ104N-J3A-70L/LM	70/40	a~c	25
	FCSJ104N-J3A-70LT	70/40	a~c	105
	FCSJ104N-J3A-80L	80/40	a~d	25
	FCSJ104N-J3A-80LT	80/40	a~d	105
	FCSJ104N-J3A-90L	90/50	a~e	25
	FCSJ104N-J3A-90LT	90/50	a~e	125
	FCSJ104N-J3A-100L/LM	100/50	a~f	25
	FCSJ104N-J3A-100LT	100/50	a~f	125

※20点まで(5点ごと)地区警報区有電圧移転出力として使用可

仕様	
自動火災報知設備	
自動火災報知受信機 (蓄積式)	
(1) 種別: P型1級複合火災受信機 (蓄積式)	
(2) 国検型式番号: 受第25~4号	
(3) 自主評定マーク使用許可番号: A-13-2	
(4) 主電源: AC100V, 50/60Hz	
(5) 予備電源: 密閉型蓄電池内蔵 DC24V 50L: 3.5Ah, 60~70L: 4Ah, 80~100L: 6Ah	
(6) 回路電圧: (感知器, 表示機回路) DC24V (定電圧) (地区警報, 自動防排煙装置) DC24V (全波整流) (制御, 表示回路) DC5V (定電圧) (表示灯回路) AC24V (蓄電池充電回路) DC48V (半波整流)	
(7) 消費電力: 警戒時最大約 60VA 作動時最大約 210VA	
(8) 非蓄積型煙感知器: 30個/1回線 機器最大非蓄積型煙感知器数: 回線数×30個/受信機接続 地区警報: 50L: 45風, 60~100L: 60個 (DC24V, 10mA/V/L)	
表示灯: 14個 (30V, 2Wランプ) 56個 (24V, 15mA LED)	
(9) 自動防排煙装置: 2A/受信機	
(10) 公称蓄積時間: 60秒	
蓄積時間 熱感知器: 10秒 煙感知器: 60秒	
(11) 主音響装置: 音声警報, 後続再鳴動方式	
(12) 使用温度範囲: 0°C~40°C	
(13) 使用湿度範囲: 20~85%(RH) (結露なきこと)	
(14) 外部配線抵抗: 往復50Ω以下	
(15) 主材: t.1.6 鋼板	
(16) 仕上: 焼付塗装 ノーミホワイテ (NW) (マンセル) N8.7半ツヤ近似色	
(17) 質量: 約83kg	
注) 蓄積式感知器は接続できません。	

番号	名	名称	番号	名称	番号	名称
15	装置名称	30 館内の音 連続停止灯 (赤)	37	自動/試験復旧スイッチ灯 (赤)	48	地区警報一斉鳴動スイッチ (赤)
16	地区窓 (M11シリーズ)	31 保守スイッチ灯 (赤)	38	自動/試験復旧スイッチ	49	設定/確認スイッチ
17	地区灯	32 一括遮断スイッチ (赤)	39	火災代表遮断スイッチ (赤)	50	↑ (上) スイッチ
18~	スイッチ操作部	33 復旧スイッチ (黄)	40	非常放送遮断スイッチ (赤)	51	↓ (下) スイッチ
19	スイッチカバー	34 火災/総合試験スイッチ (赤)	41	消防煙遮断スイッチ (赤)	52	← (左) スイッチ
20	交流電源灯 (緑[青緑])	35 予備電源試験スイッチ灯 (赤)	42	消防煙遮断スイッチ	53	→ (右) スイッチ
21	スイッチ注意灯 (赤)	36 この機器の音を止めるスイッチ	43	火災/総合試験スイッチ	54	戻るスイッチ
22	非常放送灯 (赤)	37 館内の音を止めるスイッチ (赤)	44	予備電源試験スイッチ	55	実行スイッチ灯 (赤)
23	電話灯 (赤)	38 館内の音を止めるスイッチ	45	この機器の音を止めるスイッチ	56	実行スイッチ
24	異常灯 (黄)	39 電話機 (青)	46	蓄積解除スイッチ灯 (赤)		電話チャック
		40 この機器の音を止めるスイッチ	47	蓄積解除スイッチ		
		41 館内の音を止めるスイッチ				
		42 この機器の音を止めるスイッチ				
		43 館内の音を止めるスイッチ				
		44 電話機 (黄)				

発行 第1技術部火報管理課 縮尺 1/20
図番 FCSJ80076
能美防災株式会社

